

当事者からみた精神障害者の職場適応

MSD株式会社
人事部門人事グループ
齋藤 浩太



MSD製薬

INVENTING FOR LIFE

障害内容について

● 自閉症スペクトラム障害（アスペルガー）

● 主な特徴

■ ①情報の処理…

- とっさの情報に適切に反応したり、推測して行動することが苦手
 - × 初めて知ること・聞くこと、自分が関わっていないこと、アドリブ
 - ⇒ 特に耳からの情報処理が苦手
- 物量の多い情報処理が苦手
 - × マルチタスク、一度にまとめて指示を受けると混乱する。例：ミスが増える、作業が進まない

➔ ワーキングメモリが小さい

■ ②不明瞭な状況下での耐性…

- 見通しが立たない、手順があいまい、反応がこない状態に強いストレス
- ことあと言葉、抽象的な表現を理解できない

➔ 具体性・真実性を求める（そうでないと納得できない）

※理屈っぽい、しつこい

学生時代にKY(空気読めない)で周囲と合わず、うつに。その後学生相談室でASD(自閉症スペクトラム)と判明。



MSD製薬

INVENTING FOR LIFE

障害内容について



●自分でできること

■ ①情報の処理…

- 視覚情報でカバー ⇒ 例：メールやメモのアーカイブ
- 自分が関わったり、内容を予想できる状況ではアウトプットも得意 ⇒ 例：プレゼンテーション
- タスク処理はルーティン化・シングルタスク化 ⇒ 例：手順・優先順位をつける。同じことを続けることは得意。

■ ②内容の明確化…

情報の具体化・言語化（その逆もOK）。情報の分析、サマライズは得意。

⇒ 例：資料の修正、プレゼンテーション、記録をつける など

⇒ 分析的な仕事、客観性や本質にこだわる傾向

→ 【会社での配慮】

- ・ 確認や質問の機会の確保
- ・ 業務内容：情報の視覚化、自身で展開できる仕事、
ルールが決まっている、具体的な指示がある など

障害者雇用の4つの視点

A: 障害者 to 会社 (①)

⇒ 障害者目線でみた、企業が障害者を雇用する際に望む点

B: 会社 to 会社 (①)

⇒ 企業目線でみた、企業が障害者を雇用する際に望む点

C: 会社 to 障害者 (②)

⇒ 企業目線でみた、障害者が企業に雇用される際に望む点

D: 障害者 to 障害者 (②)

⇒ 障害者目線でみた、障害者が企業に雇用される際に望む点



障害者雇用の4つの視点①（会社に求めること）

・聞く姿勢や機会の担保

- ・ 無意識の偏見（アンコンシャスバイアス）の存在

- ✓ 障害者=○○ … 例：能力が低い、かわいそう、単純作業、一人で任せられない

🗨️ 障害は属性のひとつ 属性… 性別、年齢、人種、…子育て、居住地、性的志向・性自認、障害…

※属性もその個人を表す一要素にすぎない ⇒ 知的障害者=○○、発達障害者=△△ と一括りにしない

- ✓ 属性に対して必要な配慮をすればよい → 育休、テレワーク、性的マイノリティへの施策…

— 「障害には配慮する、仕事には遠慮しない」 —

⇒ 障害者を特別扱いせず、健常者同様に一人の社員・社会人として接する姿勢

偏見による障害者の成長・自立の妨げをなくしていく

障害者雇用の4つの視点①（会社に求めること）

- ・ 障害への理解を深める

- ✓ 自己研鑽＋障害者との対話 ⇒信頼関係、会社にフィットしていく



※属性もその個人を表す一要素にすぎない

⇒ 知的障害者＝〇〇、発達障害者＝△△ と一括りにしない

障害者雇用の4つの視点②（障害者に求めること）

・障害を理解してもらうこと

・自己理解の重要性

- ✓ 自己理解＝障害内容・配慮事項、やりたい仕事（or できない仕事）、将来像…

☞ これがないと就職活動ができない or 継続就労できない！

- ✓ まずは自分を知ることが必要⇒自己紹介シート、備忘録
- ✓ 一人で判断せず、第三者の力も必要

・発信の重要性

- ✓以心伝心 お互いが円滑に働けるためにコミュニケーションする 例：手帳未所持時代の経験

・ありのままを受け入れること

- ✓不確定要素や、納得いかないこともある（逆も然り）。起きたことを理解し、最善をつくす

⇒障害者本人も不確実性のある社会にフィットする姿勢が必要 ⇔ 転職など 例：精神障害者の離職率

就職活動時に使った自己紹介シート

手帳：精神障害

診断名：自閉症スペクトラム（アスペルガー） ←

事前に知って頂きたいこと ←

① 変化（イレギュラー・緊急時）への対応時 ←

【症状】事前に予想していないことへの対応が苦手で、聞き漏らしが増えてしまいます。 ←

【対処】「Must」を確認し、順序を整理して処理します。 ←

【配慮】聞き直したり、確認をすることが通常より増えてしまいます。 ←

【出来ること】経験したものは問題なく対応できます。 ←

② 初めての作業時 ←

【症状】口頭による理解が苦手。長い説明や並行した複数の指示などで、混乱しやすい。 ←

【対処】メモをとり参照しています。早く理解できるよう、特に全体の把握を心がけています。 ←

【配慮】①でもあるように、不慣れな事態が苦手なため、初めは質問や確認・メモをとる時間が増えてしまうことご認識いただけると幸いです。また必須ではありませんが、文書による視認可能な指示があれば、よりの確に遂行できます。 ←

※事前に業務の全体感がわかると、目的や見通しをもってスムーズに作業できます。 ←

【出来ること】最終的には一人で作業が出来ます。現在の業務（障害者採用）

まとめ

- ・精神障害者も色々（苦手なこと・得意なこと、背景や特徴もそれぞれ違う）

- ・障害者を理解する努力（会社）

- ・障害を理解してもらおう＋相手の背景も理解する努力（本人）

- ・仕事は真剣勝負（双方）

⇒ 「障害は配慮するが、仕事は遠慮しない」